

☆☆

サイクリング

とだ たけお

じてんしやの ベタルをふめば
たのしいな
ほくたちのサイクリングは
こどもじてんしやで しゅつぽつた
ほくもわたしも ゆーこうよ
ハンドルにぎれば
やまもたちまち うしろだよ

じてんしやほ ほくたちの
あんよでベタルをふめば
たちまちうみなんか うしろにいくよ
ほくたちの じてんしやは
はやいなあ
みんな そろつて はーやいな
みんな

ほくたちの じてんしやも
ふるくなつて こねたら
さつそくおそろ みんなして
なおつたら また しゅつぽつた
ながいながい トネルも
たちまち これじや ぬけだすよ

三三、十一月廿九日

チューインガム

寺田純一

四月すえのある夕方、ほくはそれまで
ほとんど来たことのない通りを歩いて
た。その時行手の方であそんでいた、五
つぐらいの男の子と、もう少し小さな女
の子が「これあげる」と云つて、可愛ら
しい手をほくの前に突き出した。見ると
チューインガムをきぎつている。ほくは
いさゝかどきまざしたが「いよよいらな
いよ」と答えた。子供たちは、げんそ
うに顔を見あわせて行つてしまつた。

ほくは何だかおかしくてふき出しそうに
なつたが、後で考えて見るとあの時は受
取つておくべきだつたかも知れない。
彼等がなぜほくにガムをくれようとした
のか知らない。然し小さな子供の好意を
むげにはねつけて無邪気な心をきずつけ
るような結果になつたのではあるまいか。
いつしゆの劣等感からほくは自分から外
にたいして心をとざしていたのだ。

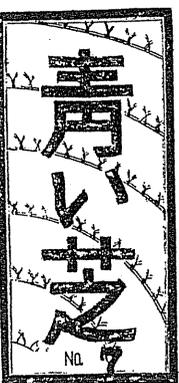
自分にはそんなひねくれた気持はないつ
もりだつたが、よく考えて見るとたしか
にそれがあつたに違いない。だから彼等
が、ガムをあげるると云つた時うすきみ悪
く思つたのだ。もちろんあまり意外で、
あつたにたられたということもある。小
さな子供の中にはほくを見てこわがるの
もたまにはいるし、ふしぎそうにジロジ

編集後記

口ながめたり、おもしろがつてはやした
てるのがかなりいるのだから。だが、い
ずれにしても、子供の無邪気な親切にし
りこみするような「とざされた心」は持
ちたくないものだ。

◎初冬の日ざしの中に青い芝五号をお
くろく。編集会議とよべるかどうか、とも
かく会長宅に集まつてガヤガヤ、
原稿とオカシと手を出す回数半々、八
頁の頁を合理的に、且つ芸術的に配合し
ようと、ない頭をしぼつてやりなすこ
と数回、何とか意見が一致して表を見る
と真暗、さすが冬の日は短かい。(〇)
◎「何か一言編集後記を書きましよう」
とやつとこゝまでたどりついた。日曜日
の夕方の山北氏宅において。一見、やさ
しそうに見えても難しい仕事。皆でよう
やくまとまつた。これからも質のよい原
稿を募る。(N)

◎十月から青い芝に入れていたどいたが
まだ何が何だかさながら分らず、考えた
り教えられたりしながら、始めて編集会
に出る時は、都合で遅くなつてしまひ暗
い道をたずねた山北君の家をやつと
さがした。：：ほつとしたとたん編集後
記を書いて下さいとのこと、目を白黒
しなければならぬ。こんなことでは編
集後記にもならない。(H.S)



34-6-15

講習及び授産いよいよ始める

前号既報

前号で会員として少しでも更生の道を見
出そうと、更生部で検討していた事がや
つと実現に至つた。それは、編物とアケ
ビの講習会を開いた事である。そこで、
各講習の様子を聞いてみる事にした。

◎あみもの

前号で会員に呼びかけた所、七人の希
望者があり、去る五月六日発会を行つた。
当日は日本編物協会常務理事をしていら
れる金井先生、小池先生を迎え、父兄と
共に今後の事を色々打合せした。その
決定した事項は

場所……世田谷区世田谷二ノ二〇三四
伊藤京逸先生方電(4)〇八六九
日時……毎週、月、水、金
午前十時～午後四時
講師……日本編物協会金井輝代先生
同 小池和子先生

その他、協会の先生方が協力
して下さる事になつた。

発行所

大田区雪ヶ谷七五二 青い芝の会
(山北方)

印刷所

大田区調布嶺町二ノ三二
更正社タイプライターオフィス

編集責任者 尾堀元英

責任者……佐久間恵子さん

この講習会を始めるに際し、元多摩補
導所編物科の先生をしていらつしやつた
穴戸先生を初め、諸先生に厚く御礼申し
上げます。

金井先生のお話「心から喜んで協力さ
せて頂きます。今の所七人ですが、今後
もつとやる人をふやして、この十月頃か
ら他人のものを編めるまでにします。半
分の人は今でも一人前以上です。」
佐久間さんの話「今の所一回四、五人で
やつていますが、沢山の皆さんが盛立て
作つて下さつた講習会なので、一日も早
く一人でも多く更生の道を見出したいと
思います。一度見学においで下さい。」

村上裕一、広瀬静枝両君の話「今、男
は一人ですが、先生方の御期待に添う様
頑張る、一年後には何でも編める様、立
派に更生した姿を見て頂きます。」
なお、講習会の為「女性の友」社より

編物の本を寄附して頂いた。

◎アケビ
四月初めから、北多摩の補導所を出た
江口君、横手君、金沢君で仕事をしてお
り、葛馬さん(会員)も一度習いに来た。
才三回リクリエーション報告
谷津遊園に行く

快晴に恵まれた四月十日五十名近い会員
を乗せてバスは谷津遊園に向つた。
楽しみにしていたリクリエーションだけ
にどの人の顔も笑顔につつまれ、ガイ
さんの説明に耳をかたむけたり笑ひ声か
たえなかつたり、快よいふんいきにひた
り乍ら到着した。帰りは都内見物もある
ので自由時間は一時間半位だつたが、解
散後の一ときを思う存分楽しもうと、個
人に乗物に乗つたり海岸に行つたり、又
動物園を散歩したり集合時間を忘れる位
楽しみ合った。一同集つた所で御弁当を
開き、いろいろの話題もとび、そこを去
るのが本当に名ごりおしそつた。帰
りのバスの中は多少疲れてはいたせいもあ
り、皆無口になりがちだつたがおもし
ろい自己紹介をしたり、又その日は御成
婚式だつたのでその模様をラジオで聞き
乍ら、浅草で一時期休憩して四時半頃五反
田に着いた、少しの疲れは感じたらうが
又の機会を期待しながらそれぞれ帰途に
ついた。

去る四月には統一地方選挙が、また、この六月には参議員選挙が行われた。大部会の会員のみならずは既に選挙権を持つていられ、各人の良識に従って選挙権を行使されたこと、と思う。

ところで、この選挙に際して種々様々な身障者の団体が、それぞれ利益を代表するとして、選挙候補として押し立てて選挙権に加わった所が多かつたようだ。しかるにこの「青い芝」の会では選挙が行われるのに際して何らの行動も発言もしなかつた。そのことに對して會員諸君の中には不思議に思い、また、不満に思っている人がいようかと思う。しかし、役員が選挙に全く無関心であつたのではない。また、無感心であつてはならないのである。

これから述べることは会の代表者としてではなく、私一人としての主張や考えであることをよく承知して読んで頂きたいことをおことわりしておく。

私は、選挙に際してこの会が強い行動や発言をしなかつた事を喜んでいる、というのは、会が下手な行動や発言をする事によつて、會員一人々々の自由な良識による判断を少しでも妨げ束縛くする事は、一つの悪ではなからうかと思ふから

である。そして、一つの会あるいは団体が一人の推挙候補者を押し立てて当選させようと躍起になるなぞという事は、私に云わせれば、前近代の(前現代的)と云つた方がいゝかもしれない)な事なのである。

莫大な費用と労力が使われて議事に一人や二人の、身障者の利益のためと叫んで送り込まれた人がいたとしても、果して彼らにどれだけの事が出来るか、私は懐疑的にならざるを得ない。勿論そのような場に身障者の代弁者がいる事について、全く意識のない事だとは私も思わないが、いろいろのヒモつき議員がそのヒモのためばかり考えているのが多い今日、そして、議院が少数者の意見を殆んど入れない現在において、少数の彼らが真正面から身障者の福利に付て叫んだところ、一体どれだけの事が出来るだろうか、恐らくそれは無に等しいだろう。そのような状態において少数者の彼らが主張を通そうとすれば、他の多くの議員を説得をしなければならぬまい。その場合、多くは裏面における取引が行われ、そこにこそ縁が生じ、ひいてはそのくされ縁がその議員を推挙した団体にまで影響してくるだろう。私はそのようなものに束は

くされたくない。

今度の選挙に當つて、かなり多くの候補者が身障者の福利を口にして身障者団体の推挙を受けた。だが、それらの人たちの何%が誠心誠意私情なくして我々身障者のためを考えていたであろうか。私は先日私の不安を裏書きするようなこつこつ事実を聞き込んだ。それというのは、ある地方で身障者のためいろいろとつくしてくれる人がいたが、その人が今度の地方選挙に立候補したので、その地方の身障者団体は積極的にその人を応援したのだつたが、不幸にしてその人は落選してしまつた。と、その人は、今後一切身障者の面倒は見ない、と言明したというのだ。しかも、その人は前々から福祉関係の仕事にたずさわつていたのでさうだ結局、その人は私欲を満さんために、身障者を利用してはいたに他ならない。そして、その人が当選して来たとして、その人は私欲を満すための踏台として身障者をかえり見ないか、より不純な関係を持出すだろう。そのような関係において表面上身障者の福利が良くなったとしても、それが真に我々の福祉が向上したと云えるだろうか。

結論として、一般社会の我々に対する理解が深まることによつて、我々の福祉が向上する事こそ真の我々の福祉の向上ではないかと、私は思う。

役員会 報告

三月二十九日 (於 伊藤先生宅)
役員辞任の件 — 橋本さん、森君から夫々役員を辞任したいとの申入れあり。それを認める。

三月の各部報告、及び四月予定
総務 — 福島地方支部の件につき、柳下、山北及び相談役原田氏三月十五日福島県平まで出張。

広報 — 三月二十日会報№6発行。
四月五日會員募集のため、大田、目黒、杉並、中野の各区へパンフレット発送。
更生 — アケビ細工は準備整(四月六日)より開始。あみものは未定。

教養 — 成人勉強会は土曜日塾の終了後行ふ。研究会は四月十二日に相談する。

会計 — 予定より支出が多いとの事。
支部報告 — 杉並支部では三月二日桃井才一小にて例会開催。

塾の件 — 総括的には教養部が責任を持つが、個々の塾については、世田谷、和田、田園調布、金沢とする。
この塾は光明養護学校と特別な関係はない事を父兄に承知してもらふ事。

更生事業研究会を作る件 — 會員の田村君の提案により(養鶏等の種々の更生事業の研究をする研究会)作成決定。

その他、地方会員のことについて討論、
四月二十六日 (於 伊藤先生宅)

四月各部報告及び五月予定
総務 — 四月二三日、城北城東方面の親睦会を開く。三、福島地方支部結成についてその後連絡なし。

広報 — 四月六日にパンフレットを配布した結果、約十人入会申込あり。
更生 — 日本編物協会の金井先生の御協力を得、五月六日より開始。

教養 — 二、勉強会は人が集らず中止。
三、研究会は、「草枕」を研究中。
役員補充の件 — 各部共実際に活動出来る役員が少いので役員補充を認める。

広報部...古俣正子・広瀬静枝
教養部...星野秀子
夏季キャンプの件 — 七月下旬頃夏季成人キャンプを行うについて、その計画委員を選出

計画委員...村上裕一・和田光司
白土信江・佐久間恵子
バッチ売りの件 — 会の運営資金を増すため、再び肢体不自由児のためのマツチ売りを行事にし、その計画実行委員を選出。委員...金沢英児・四益和良

施設計画の件 — 一月八日の役員会で議題になつた施設の件について、その後「親の会」が一向に動かないので、早急にかつたかのような物にすれば良いかを決めるため、実態調査を広報部で行う。

親睦会・支部結成会報告

城東城北例会に出席して

四月二三日、我々城東城北に住む會員待望の例会が開かれた。会場は荒川区南千住に福音会所を営む、柳氏宅である。定刻までに集つた會員は六人、男性四名、女性二名。

自己紹介をして、お互いに名前だけしか知らなかつたのを、人物共に頭につめ込む事が出来た。更にゲームやトランプをして一層親密感を増し、最後に福利で様々な賞品を買つて満足して閉会した。こういう機会は度々持ちたいものだと思つた。

世田谷支部結成

五月三日、世田谷支部結成の日。一週間前には、福祉事務所などで調べた世田谷区在住のCP(個性マヒの略)、約八十人に案内状を出して、さてこそと役員は手ぐすね引いて待つ。ところが集つた人数は新旧合せてつたの四名。役員を合せても十人そこそこ。これでは、接角いらつちやつて下さつた光明養護学校の小野校長先生や、こだま会の人に恥かしくて顔向け出来ない。仕方ないから座談会をやつてお茶をにごす。
ともかく、何故こつこつ失態を演じたか、その原因を究明する事。(A)

脳性マヒ者の更生は難しいというのは、心理的な問題、性格上の問題もあるが、やはり能力が劣るということが最も大きな原因になるだろう。そこで今回は脳性マヒ者の職能的側面を眺めてみよう。まづ知能テストの際の作業検査部門についてみると、記号合わせ(ある記号と記号の組合せを覚えていく能力)と、積木デザイン(デザインの通りに積木を組合わせる)の二つが非常に劣っている。つまり速さと正確さの知的能力、全体的な能力を理解する判断力や総合、分析的な能力に欠けることがある。それから、脳性マヒ者は条件の変化に適応することが難しい。(適応できる者もいるが)、即ち、目と筋肉の協調をピアノで習つても、その効果をタイプライターにもつてくることが出来ない。タイプを習うなら始めからタイプライターそのもので訓練をした方がいいのである。ところで、脳性マヒ者の中でもアトリー型の場合は、例えばハンダ付けをする時や靴の釘を打つ時など、腕を体側にぐつとくつつけるようにすると比較的アトリーゼ(不随意運動)をおさえることが出来る。尤も一方そのような姿勢では無

理な作業も出て来るわけで、形はどうでもやり易いやり方でさせた方がいいが、始めはやりにくくても出来るだけ普通のやり方でやらせるようになっていくのが、より大きな問題と考えられる。それは何かか僕自身の場合も、箸を持つ時、歯ブラシを使う時など、左手で右手を一寸ささえるとケイレンがぐつと少くなるし、文字は机でより畳の上で書いた方がすつときれいに書ける。しかし、机の上でうまく書けないのはたしかに不便ではある。脳性マヒ者の場合、心理的特性が訓練にいろいろの影響を与えるという問題がある。そして、脳性マヒ者にも共通の問題として、緊張の問題がある。即ち、脳性マヒ者は緊張するとよけい身体をこわばらせたり、手足がひどくケイレンしたり、又言語障害がひどくなったりする。尤もこういうことは一般の人にもあるのだが、脳性マヒ者の場合はとくにその反応が敏感であり、大きいのである。そういふことから、あらたまった時やなれない初対面の人などには、実際よりも障害をひどくみせるといふことがある。逆に意識をしない時はスムーズに身体が動く。そして、落着いて、更に自信をもつて当る時はうまくいく。云わば、脳性マヒ者の場合、心理と生理が密着しているのである。

例えばピンポン、水泳、自転車等に強い意欲が起きて一生懸命にやると、意外に上達することがみられる。即ち、なかなか難しいが、本人にやろうという意欲があれば泳げなかつたのが泳げるようになる。尤も、どうしても泳げるようにならない者もいるが。ともかく、脳性マヒ者でもその個人個人の特性をよく見きわめ、それに応じた指導と訓練を根気よく続けることにより、始めは無理と思われたことも、その特定の仕事に限っては意外なほど上達することがある。と云つても、脳性マヒ者の場合、非常に時間がかかる。即ち、普通の三倍から五倍位の時間がかつてしまふ。これは一つのガンともいふべきものだが、その他その障害からさまざまな限界がある。例えば一般に時計のような細かい仕事は出来ない、字をきれいに書けない者も多い。又症状が一人一人みな違うように、能力も同一ではない。脳性マヒ者の能力はたしかに低い。けれどもOではないのである。編物で厚生大臣賞を受けた人もいる。問題は本人の努力と社会の受入れである。(以上、身障者更生指導研究会での国立更生指導所高瀬所長の講演記録を参考にした)訂正……前回は脳性マヒ者は「空想的な傾向がない」と書きましたが「空想的な傾向が強い」の誤りです。

職を持つ人々 (その一)

今回より「職を持つ人々」と題して障害にもめげず毎日一生懸命働らしているCPの人々をたずね、その様子を紙上に紹介し、会費の皆さんの参考になればよいと思う。今回は中央区に住む小嶋和夫君(三〇才)をたずねいろいろと聞いてみました。問 どの様な職業ですか? 答 電子測器会社の技術部で目盛工をやっています。問 いつから勤めたのですか? 答 今年の九月からです。九ヶ月です。問 どの様なツテですか? 答 知人よりの紹介でした。問 通勤ですか、住込ですか? 答 住込と云うのです。下宿住いではありません。問 勤務時間は? 答 午前九時から午後五時まで、八時間勤務です。問 失礼ですが給金は? 答 今の所月給七千円です。問 体力的に見てどうですか? 答 現在の処、可もなく、不可もなしと言つた状態です。問 CPの貴方を雇主や同僚はどの様に思つていると思いませんか? 答 全面的に理解して下さつて接して下さいます。

今の仕事にどの様な希望をもつていますか?

……自分の努力による事は勿論ですが、かなりやつていけるだけの自信をもつております。たゞ一生懸命やつていけるだけです。問 CPの職業につき貴方はどの様に思つていますか? 答 その人々一人一人の身体の障害によります。今年も成人キャンプ開く!! 昨年七月下旬に葉山教会のご厚意によりキャンプを行ったが、今年も二泊三日で同場所をお借りして行う事になった。希望者は左記をよくお読みの上、お申し込み下さい。一、目的 青い芝 キャンプ予定プログラム (a) 日常訓練 (炊事、掃除等日常生活を自らやりとげる習慣をつける) (b) ディスカッション(話し合い) (色々な問題を話し合い、各人と(親睦、理解を深める) (c) リクリエーション (単なるリクリエーションではなく、各人がキャンプあるいはその他の集いでリーダーになれるよう

つて違いますが、仕事も適したものがかなりある様子がします。現在の社会状態から言つてすべては雇用主側の理解あつての事ですが……勿論自分自身がそれに答えての努力がなくてはならない事は当然ですが……

なお小嶋君の住所は 中央区島西河岸通り十二の八 山田てふ方 です 三期 問 二十一日(火曜日) 七月 二十二日(水曜日) 二十三日(木曜日) 三、場所 神奈川県三浦郡葉山町堀内 字牛ガ谷一ノ九九六 葉山教会々堂 四、費用 食費等 六百元、交通費 四百円 小遣い 四五百円 希望者は六月二十五日までに本会事務所へご通知下さい。なお、人員の都合でお断りする場合がありますから、その点ご承知お下さい。 スケジュール詳細は、七月初めに参加者全員による打合せ会を開き、その席で決定します。

私はCP者を一般の方々に広く深く理解して頂くには、まずスポーツ心を養わなければならぬと思います。CP者は四肢が不自由なので幼い時にはスポーツをやりたくても出来なかつた方が大部分だと思えます。それに従つて体の発育も後れ勝です。青い芝の会の皆様とお互にスポーツが出来れば体も丈夫になるし、気持が強くなるのではないのでしょうか、CP者でもスポーツを一生懸命訓練を致しますれば必ず一般の人々に劣らないスポーツ心が養われるのではないのでしょうか？それで、世の中の人にCP者でもこんなスポーツが出来る事をPRするため私の過去をお話致します。私は六才の時よりよくうば車につかまつて歩くようになりました。やがて小学校へ入学しましたが、とにかく学校が遠い上、CPですで大変苦勞しました。朝早く学校へ通つたのが私を歩かせる才一歩でした。学校は一般の学校でしたので行き帰りの途中にはひどくいじめられた事がしばしばでした。それで負けずに通学した事が今の私の足を作つたかも知れません、もし私が弱氣であつたか学しなれば今頃は歩けぬ不具な人間になつていたかも知れません。そして自分の行きたい所や、もちろん中学へも補導所へも行く事が出来なかつたと思いま



「CP者へスポーツ心を」
北多摩 宮沢 広雄
CP者の校を建るべきです。所へ入学したので学校時代の楽しかつた時は一つもありませんでした。それでも学生時代は家に帰りますと、近所のフレンジは幼い時から私を知っていますので草野球やプールで楽しく遊んだ事が一つの思い出として残っています。やがて中学を卒業して補導所へ入所しました。ここは身障者はかりなせきまで別園へ行つたみたいで気が持が明るくなりました。私はとにかくボクシングやレスリングが大好きなので、休日や昼休みには必ずレスリングをやりました。相手はCP者ではありませんので、ものすごく強かつた

です。これは私の衷の事ですからどうかCP者の発育期のお子様をお持ちのご両親様お子様の歩行訓練をたえ間無く行つて下さい。後でとりかえしのつかなくならないように。
話は大部分道へ逸してしまいましたが、先程のつづきを、そして運動会や体育の時間が一番つまらなかつたです。体育の時間に皆んな楽しそうに野球をやつている所を私は一人で見えていますと、体が丈夫だつたら私も野球を楽しむ事が出来たのにと思つた事が時々でした。勿論私みたいな試みをした人々も多数おられると思いますが、
「CP者の校を建るべきです」

☆☆☆ 新宿漫

「青い芝」の会合が終るのを待ちかねて、白土さんと私は新宿行の小田急電車に飛び乗つた。
二人の間にはすでに「新プラ」の相談が取り交わされていたのである。
「何を食べる？」
「そうねえ、何がいかしら」
私たちが電車の中でオ一に発した言葉である。
その時直ぐに私の頭に浮んだものは「あのふつくらとふくらみ、乙に澄まし座ぶとんを敷きチョンとつまんだ跡のある白いハゲ頭からフワリ湯気を出している一列のものである。」
「あたしは、この間あなたの食べたものを食べるわ。」
「あ、あれ、あたしもそえがいゝわ……あたしは大好きなのよ。」
私は時々タイブの掃りに中村屋へ行つては、これを昼食にするのである。
私のような「親のスネかじり者」には、お値段が手頃だし、その上私の味覚を充分楽しませてくれるからである。
「じゃあ、それを先ず中村屋で食べて……それから「新プラ」しましょう。」
「もう五時よ。あそこはもう満員でダメよ。」

☆☆☆ 歩

新宿 星野 秀子
「そうね、この間すこかつたものね。食べてる側で立つて待っているんですけどの落ち着いていられやしない。」
「あそこはね、一時頃行くとガラガラよ。今度その頃に行かない。」
私は先日彼女と二人で一杯三拾円也のあんみつを食べるのに三〇分も見ず知らずの人がおいしそうに味わつているのを見物しなければならなかつた事を思い出していた。きつと隣の相棒も同じ思いに違いない。
ここで、この拙文を読んで下さる方にひとつこの会話に出てくるあそこを御案内しましょう。御用とお急ぎでない方は是非立ち寄つてごらん下さい。甘党の方なら一応満足するでしょう。但し「駿方お断り」の看板あり……。念のため。
新宿は歌舞伎町、西武新宿駅の斜め向いにハンドバツタ屋があり、その横丁を曲つた所小さいですが一寸シャレた甘味処、みつばちがあります。(リベートルもらつたかな—広報部)
参考の為にメニューを拝借すると、
あんみつ 三拾円
みつめ 三拾円
かのこ 二拾円
小倉アイス 二拾円

春 雨 二拾円

私たちは新宿へ着くと中村屋へ直行した。今日の会計は彼女任せと定つていのである。私は彼女から銀貨一枚受け取るなり「肉萬二皿」と食券なるものと交換した。こゝも時間が時間なのでいっともより混んできた。それでも彼女が私たちが二人におあつらい向きの席を探してくれていた。間もなく運ばれて来た肉萬を手づかみでほろぼつた。私はいつになく美味いと思つた。……それもその筈、相棒のおごりである。
「今日は新宿を食べ歩こうか。」
「そうね、次はどこがいゝ。不二屋？」
「オリンピック？」
「オリンピックがいゝわ。最近入つたことないから。」
「今日は駄目だけど今度いつか、みつばち」のメニューを端から全部片づけてみたい。」
「賛成」
オリンピックの会計も彼女任せ、いゝ気なもので私の好物である生クリームとアイスクリームを盛り合わせたオリンピックサンデーをペロリと平らけてしまつた。だが残念なこと私の胃袋は標準の半分しかないのもうこの辺で満員である。さてこれから如何しよう。時計は六時を廻つたばかりである。あ、そうだ。

あそこへ案内してみよう。

「ねえ、これから実演のジャズ喫茶へ行かない。」

「行きたいわ。……でもあたしもう余り資金がないんだけど。」

「大丈夫よ。コーヒー位ならあたしが持つてるから。」

私たちの気の合ったこの一致振りはどうです。

ねえ、相棒よ、私達のこれからの生活には楽しい事もあるけど、つらく悲しいことも数多待ち構えているに違いないね。どんな時にでも語り合える「オイ、喜多さん」「ホイキタ弥次さん」で何日何日迄も進んで行こうよ。私達のシグナルは決して赤には変らない青色一つですもの……

それから間もなく、ACBの入口へ立つた私は\$入れをさかさかして三百円をはたき出した。それから八時半迄突に楽しい世界へ旅行した。とにかくそこでは明日のパンの事も自分の事も考えないで良いのだから楽しいに決っています。如何です？お望みとあらば御案内しますよ。但し断つておきますがチヨイチヨイ行く所ではありません。人生に對し息が詰まりそうになつた時は、良薬となつてもかも知れません。

ではこの辺で帰ります。

お手紙紹介

北海道大学大学院在学中の馬場雄二君からの手紙の中に、皆様にも紹介したいと思われる個処がありますので、ご紹介します。(山北)

中央では、貴兄らのご活躍により大分世間の我々に対する理解も、段々、深つて来たように感じられ有難い極みなのですが、貴兄らの努力も北海道までは遺憾ながら到達せず、また貴兄らのご活躍前の状態のような段階に思えます。

そこで、北海道に住む我々も、中央に住む皆様方のご活躍と平行して、同じ目的達成のために努力してみたいと思ひます。明確に申せば、青い芝の会北海道支部を組織して、皆様を追随したいのであります。もし、ご許可下されば幸甚に存じます。

我々と申しまして、今の所同志とたのむ人々も居りませんので、よろしくご指導をお願いすると同時に、札幌、小樽地方に大活躍をしてくれるような頼もしい同志の方々をご存知でしたら、ご面倒ながら御一筆下さるようお願い致します。それから老婆心ながら、青い芝の会を中央のみではなく、全国的に設置するような方向に持つて行かれたら如何と、思

考いたす次第です。その際、分裂活動は、即ち、統一を乱すような活動は成可く押えるべきだと考えます。会計は、地方分会毎に独立して置く方が便利でしょう。我々の縦の結びつきと、横の結びつきが全国的に拡大すれば、現段階より二倍も三倍もの力を対内的にも対外的にも発揮することが出来るでしょう。

このことは他の人々の場合にも当てはまりますが、我々も努力して自分自身を向上させると同時に、社会的にも働きかける努力をしなければ、個人は救われることがあるかもしれませんがそのためには、ひどい努力を費やさねばならないことがしばしばあります。

※ 会員の皆様のなかで、もし、馬場君の欲しているような同志をご存知の方は、本会事務局、又は、札幌市北二十三条西七丁目 大庭明 様方 馬場雄二君へ直接おしらせ下さい。

◇ 文芸活動を通じて、身障者同士はげまし合ひながら明るく生きて行こう、そして一般人との交流も計ろう。という会があります。入会された方は左記へ
東京都北区滝野川三の七四 尾堀方 椎の 木文芸会

湘南支部発会す

五月二十七日、藤沢の成田さんのお宅を拜借して、湘南地方の親睦会を兼ねてむつみ会(むつみ会とは本会と全く同じ目的を持つ藤沢市内のCPの会で、その主幹者塩田さんは、行く行く「青い芝」と合同するつもりだつた故)との合同集会を行った。そして今後は「一語になつて藤沢を中心にした「青い芝、湘南支部」とする事にし、その支部長には、藤沢市弥勤寺二七九 塩田はつさんが選ばれた。

当日は、父兄も合せて二十人程の人が集り、神奈川県関係方面に実状を強く訴える事や、本部と呼応して編物教室や末就学児の指導のよきな事等をやりたい事、あるいは、身障者の施設へ入りたいと思つて行く、障害が重過ぎるとか軽過ぎるとか云つて仲々入れてくれない、という不満等が話し合れた。

様々な報告

三月十一日午前六時十五分からのNHK第一「明るい茶の間」の時間に、塾の事が取り上げられ、伊藤先生のお話しやお母様方の話し等をまじえながら、児童が合唱している所などが放送された。

三月三日、前記の放送の放送料を元

にしてバス一台を借切り、羽田空港と平和島遊園地へ塾の遠足を行う。空港では目の前で飛行機が飛立つのを見たり、遊園地では豆汽車や豆自動車に乗つたりして子供たちは大はしゃぎ。

四月二十九日 都身連発日新聞社共催の身障者慰安会が新宿御苑で催されたので本会も多数参加。そこへ行つた役員は抜目なく役員でないCPに会のメンバーレットを配布。

五月四日、この四月光明学校やその他の学校に入つた、いわば、塾の才一回卒業生をも招いて、世田谷塾で子供会を催した。

五月九日、千葉県手足の不自由な子供を育てる会連合会から招きを受け、その総会へ和田、山北がアメリカから贈られた映画フィルムを持つて出掛ける。会場には約五十人程の人が集り、熱のこもつた会であつた。その席上、和田君が「後に続く者のために」という話をし、又、会終了後、向うの役員の方々と色々話した。

五月二十日、米國ベオリア地区CPクラブのバーネー・コーエン氏より手紙が来る。それに同封されて来たイリノイ州CP連合会の新聞に、この前こちらから送つたレクチャーセッションの写真と手紙が載つていた

三月以来、役員や会員に各地の福祉事

務所で身障者名簿からCPを調べ出してもらつて居るが、仲々気持良く名簿を見せてくれる所が少く、今までは完全に調べられたのは、都内では大田、目黒、北川、港、世田谷、杉並、中野、新宿、北の各區で、調べ出した人数は合計約五百五十人である。尚、東京以外で調べてあるのは藤沢市及び福島地方である。

年金法成立

國民年金法案は先の三十一国会に於いて一部字句の修正を行つただけで實質的には政府案通り成立した。(障害年金の内容については前号既報)

この法案につき新聞紙上などでいろいろ問題が指摘されて居るが一応これにより國民健康保険法とあいまつてわが国社会保障制度の骨組が出来上がることになる。このため五月から厚生省に年金局、各都道府県には國民年金課が設けられ、来る九月から無拠出年金(掛金なしでもらえる年金で、我々はこの対象になる但し二十才以上の者)の受給申請書を受付けるよう準備を進めるとともに、無拠出年金受給者の資格審査を始める。そして、十一月から無拠出制は発足する。このための国の予算は百一十億円で、支給を受ける人の中、障害者は全国で十八萬二千人(都内はこの一割位)と推定されている。「朝日新聞」尚、無拠出の援護年金は福祉年金と改められた。

御寄附御礼

浅原源七様(戸田健夫君のお祖父様)からテープレコーダーを贈って頂き、塾生の言語治療等に有意義に使わせて頂いています。又、鈴木照子様、長田充弘様から御寄附金を頂きました。
以上の方々へ厚く御礼申し上げます。
その他、会員諸氏からのカンパありがとうございます。

黒板

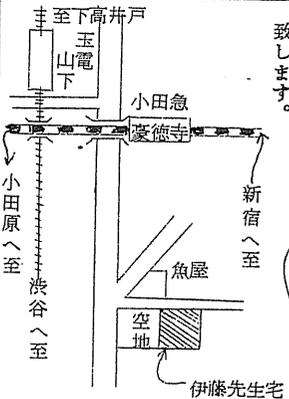
◆前号の折込みでお知らせしたように、本会では脳性マヒ者の生活体験記録を集めて一冊の本にして出版することを計画し、その原稿を募集しています。この本の出版目的は、一人でも多くの人々に私たちの実状を訴えて知ってもらい、正しく私たちを理解してもらうためなのです。ですから、文章が例え上手でなくとも、それがその人の生活や体験からにじみ出たものであれば良いのです。そして、小さい子供の父母の記録(必しも小さい子供でなくても良い)も併せて出したいのです。原稿募集の切りは六月末日ですから、原稿を応募して下さい。
尚、この原稿は本会以外に広く募集しますから、関係者でそういう記録を持っている方がありましたら、本会へお送り下さるようお願いいたします。

◎ 編物講習生募集

一頁所載の通り編物を始めましたが、現在人数が少いのもう少し人数を増したいと思えますから、ご希望の方はどうぞ直ぐにでもおいで下さい。
月謝は不用、編機も日本編物協会の諸先生方のご厚意によるものがありますから、少し古いのでよかつたら貸します。教材も手がなれて来ましたらお渡します。尚、正会員が主ですが、その人達の気持を十分理解して下さる方ならなたでも結構です。

◎ 編物教材募集

編物の教材が必要になって来ました。お手許に少しでもございましたら御提供下さいませ。様々お願い致します。編返しでも結構です。編賃は一オンス当り三十円(素編の場合)の割で頂きます。教材をもつて来て頂く場所は、地図にある伊藤先生のお宅へ(月水金)をお願い致します。



不自由に生れて

一 身体障害は克服出来る！
E・R・カールソン著
天野まこと訳
葵書房 発行
定二〇〇 送二〇〇

この本の著者、E・R・カールソンは成人してからも、コーヒー茶碗を持つ時に、それをたして口にとよかせることができるか、肩を越してとばしてしまいかかわらない程の脳性マヒ者でありながら、努力と忍耐によつてエール大学で医師の資格を取つた人である、そこに書かれていること全て、我々脳性マヒ者にとつて有益なことばかりである。
尚、この本をお求めになりたい方は本会でお取次致しますが、本会々員の方には会より補助し一九〇円でお付けします。

◎ 編集後記

私達今回より広報部の部員になってこまつたりあわたりたりりましたが、原稿が集つて整理することになり、なによりも嬉しいことです。でも、もつともつと原稿が集まり私達をこまらせて下さい。いろいろな体験や日常生活の様子を投稿して下さい。次回のメチは八月十五日迄に送つて下さい。(広瀬、古俣)



発行所 大田区雪ヶ谷七五二 青い芝の会
印刷所 (山北方)
大田区調布織町二丁目三一
更正社タイプライター・オフィス
編集責任者 尾堀元英

山北会長辞任す

健康上の理由

去る六月の役員会において突如山北会長の辞任願が提出された。
辞任理由としては健康上の理由で、役員会としては、なんとか十一月まで留任してもらえよう懇願した。しかし、山北君の決意は固く、役員会は仕方なくこれを受理した。

こゝで会員諸君に考えて理解してもらおう事が二、三ある。会長を始め役員の仕事がいかに大変な事を理解してもらふことである。一つの例として、毎年春秋行なわれるリクリエーションにしても二ヶ月前頃に役員会で実行委員を定め「日程」「場所」「費用」等を定め、役員会の承認を得、バス会社へ行きコース、費用等を定め、これを会報で知らせ募集する。そして下見を行い、募集したものを各班にわけ班長を定め、集まつてもらつて当日のこまかい打合せを行い、この間

に本会の関係者の方に同行を依頼し、こゝやつてリクリエーションが実行されるのである。

一つの事を行うのに、これだけの手数がかり、その他いろいろの事が行われ、支部例会、その他いろいろの事が行われ、役員は週五六日は会の事で追われている、これでは精神的にも肉体的にも大変な仕事である。そして経済的にも大きな事でもある。交通費は会の方で出るが時には半分の時や全然出ない時がある。しかしこんな事は問題ではない。もつと大事な事は、自己の将来を考えた時生活安定を考へると疑問をもつのである。しかしこれをのり越えて本会の為になつていく役員の仕事を考えてもよいのではなからうか……。ましてや会長は大変な事だつたと思う。会のあらゆる面の配慮や連絡、その他数々の仕事である。

後任会長に金沢英児君

山北前会長の辞任を受理した役員会では後任として前副会長であつた金沢英児君を定め会長に就任する事になった。金沢新会長の話『至らない者ですが、皆様のご協力によつて会をよりよく発展させていきたいと思ひます。』

尚、役員は次の通り

- | | |
|----------|------|
| 副会長 高山久子 | 尾堀元英 |
| 総務 山北厚 | 柳下明之 |
| 更生 高山久子 | 四釜和良 |
| 草場道子 | 小出幸一 |
| 金沢英児 | 村上裕一 |
| 佐久間恵子 | 広瀬静江 |
| 尾堀元英 | 和田広司 |
| 星野秀子 | 能勢敦子 |
| 白土信江 | |

◎ 事務所は今迄通り山北方におきます。